



祝! 須賀川特撮アーカイブセンター 開所!

Report: 坂本博紀

2020年11月3日、約3ヶ月かけて仕込んだ塩屋埼灯台のオンラインイベント「とよまの灯台文化祭」の本番が行われ、メインスタッフである僕は一日中塩屋埼灯台に張り付いていました。たまーに見るフェイスブックのタイムラインにしきりに出てくるのは「須賀川特撮アーカイブセンター」の記事で、忙しい最中「ついに出来たか!」「いてもたってもいられない! 早く行きたい!」という思いにかられていました。

思い起こせば2018年に開催された「すかがわ国際短編映画祭」。これは平成元年から続いている映画祭で、さまざまな国で撮影された質の高い映像作品をジャンルを問わず上映するイベントです。

ここで庵野秀明さん、樋口真嗣さん、尾上克郎さんの三名が登壇し『巨神兵東京に現わる(2012)』とそのメイキングである『巨神兵が東京に現れるまで』が上映されました。

そこで、特撮技術の保存が急務なことと、それにまつわるモノの収蔵庫の確保が必要なこと、展示や展覧を考慮に入れない条件まで飲んでくれ、非常に協力的な須賀川市とのご縁が語られました。ここで話題に出たのが『日本海大海戦(1969)』に登場する戦艦三笠。

僕はこの話を聞いたときから「いつか見てみたい!」とずっと思い続けてきました。まさか、こんなに早くこの願いが叶うとは思いませんでした。

翌日の11月4日、いわき市から国道49号線を通り郡山方面から福島空港を経由して須賀川に向かいました。「須賀川特撮アーカイブセンター」に行くなら是非こちらも寄って欲しいのが福島空港。まるでウルトラマンシリーズの科学特捜隊、ウルトラ警備隊、MATなんかの基地の様な空港で、南側には大きなジェットビートル、空港中央には4mのウルトラマンティガ、空港二階にはウルトラマンエースとパキシ

ムの大きなジオラマ(こないだ行ったらウルトラマンサーガとEXレッドキングに変わっていました! 定期的に展示が変わるようです。)などがあり、休日は子供連れで大変にぎわっています。展示スペースもあり定期的に絵画や写真などの展覧会も開催されています。開田裕治さんの展覧会なんかもよく開催されています。

そこから市街地に向かった須賀川市民交流センター内「tette(てって)」には円谷英二ミュージアムがあります。ここでは東宝の協力のもと制作された、ここではしか観られない映像『ゴジラ須賀川に現る』が上映されています。この映像の楽しみかたとして是非やって欲しいのが、少し遠く(須賀川市役所がおススメ)などに車をとめて存分に街歩きをしてから鑑賞することです。街中にはウルトラマンやエレキング、ピグモンとカネゴンが街のベンチに座っていたりします。ここでウルトラマンや怪獣たちだけでなくしっかりと町並みや建物を見てもらってから『ゴジラ須賀川に現る』を見ると、特撮映画の醍醐味である“知っている街や建物が壊されるカタルシス”を十分に味わうことができます。

そして街中でご飯を食べて(やっぱりラーメンがおすすめかなあ?), いざ「須賀川特撮アーカイブセンター」へ。市街地からは結構離れていてどんどん田んぼの風景になっていきます。うっかり通り過ぎないように左側に“福島交通 岩瀬支所”のバス停を見つけたら建物に描かれた大きな怪獣が見えます。ちょっとここで興奮するのですが落ち着いて車をとめてエントランスに進みましょう。新型コロナウイルス感染拡大対策のために一定数の人数制限を行っていますので、できれば、休日を避け、平日に訪れたほうがゆっくり見られるかもしれません。当たり前ですがマスクの着用、消毒の上で整理券を渡されますので、入館の指示に従ってください。



スマートフォン、携帯電話での撮影、SNSに載せることは可能ですが、一眼レフやビデオカメラでの撮影はできませんのでお気をつけて。エントランスでは樋口真嗣さんのPOPが「2Fもあるよ」と指差しますが、まずは一階から。入ってすぐの場所には特撮背景、上から飛行機などが吊られていて模様を映し出すための特撮水槽などの大きなものが飾られています。モニターが2台あり、「須賀川特撮アーカイブセンター」ができるまでの映像や戦艦三笠の修復の様子などの映像が流れています。図書室には特撮関係の蔵書があり、イスに座ってゆっくり閲覧することができます。ここでは是非見て欲しいのがハチ公の像で、最初は「何でハチ公？」と思ったのですがあの『ガメラ3 邪神覚醒(1999)』のギャオスとガメラが激しい戦いを繰り広げる渋谷のシーンで出てきた、あの炎にまかれるハチ公です。“現実には怪獣が現れたら人間たちはどうになってしまうのか、というリアリティ”ある演出を磐石のものにした『シン・ゴジラ(2016)』以前に、同様の“リアル演出”を意識して最近見直す機会が多いシーンだったので感激しました。ケースやパーテーションもないので同じ角度で写真が撮れます。ぜひ右側から若干アオって撮ってください！

そして奥へ行く前に樋口真嗣さん絵・文の解説ペーパーをお取りください。このペーパーも非常に楽しく、いろいろ説明されていますので大変いいです。

手前からジェットビートルやウルトラホーク、マットジャイ



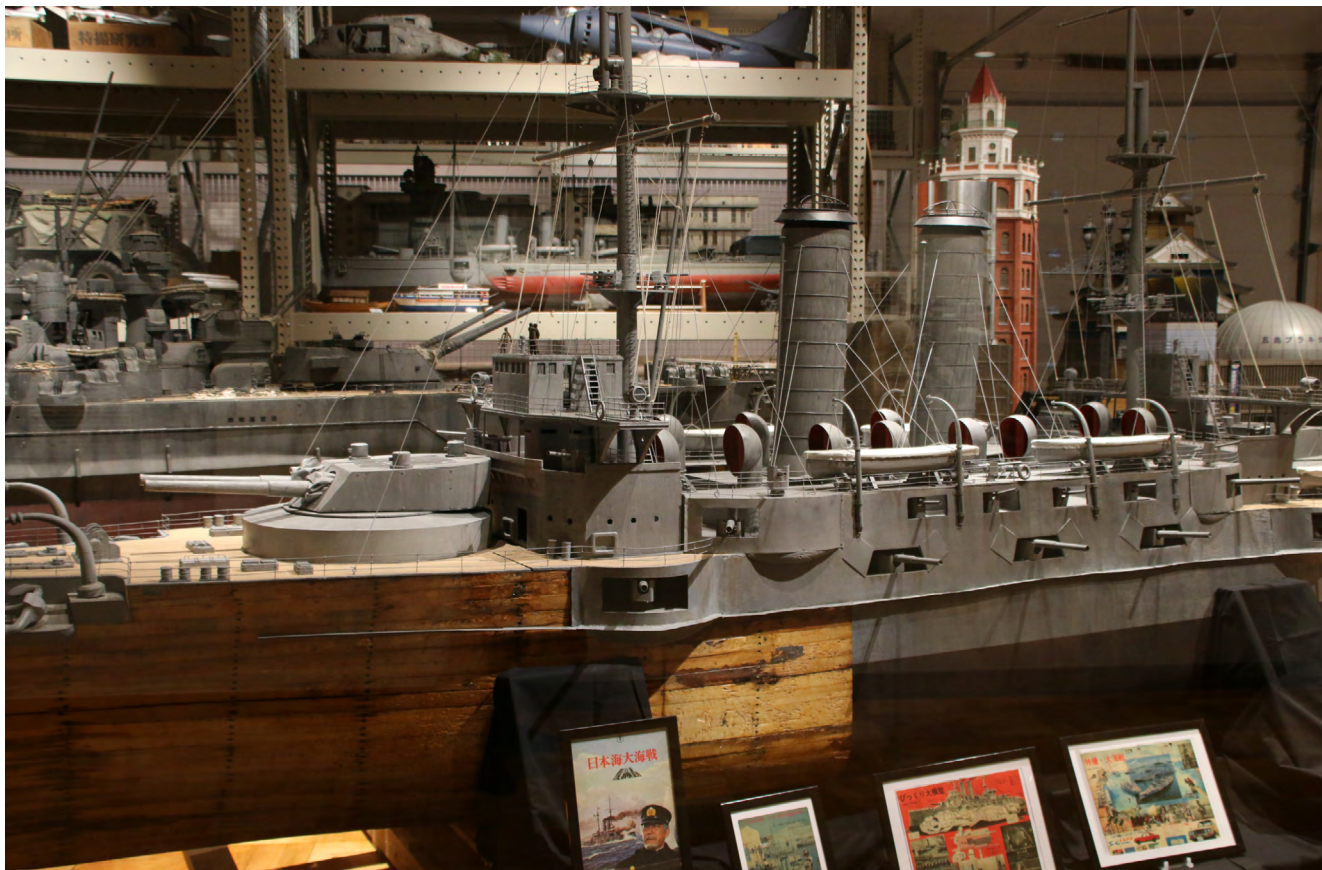
ロなどが飾られており、マットシュートなどのステージガンなどもあります。そしてウルトラマンの飛び人形よりサイズも大きく目立っている『ゴジラ対メガロ(1973)』に登場したジェットジャガーの飛び人形。実相寺昭雄監督『シルバー仮面(1971)』のスーツ頭部などもあります。

こんな調子で紹介しているといくら書いても書ききれませんが、先に書いたとおりここは収蔵庫を一般公開しているというニュアンスなので入場料などはかからず、管理公開している須賀川市には本当に頭が下がる思いです。

収蔵品の保存、修復、調査などが主で、いつの時代の何の作品かがよく調べられておあり、映像文化に対する学術的価値も大いにある活動だと思います。パイロットフィルムや未公開作品などのものもありますが、映画や映像作品の魂がここには多く集まっていると感じます。映画という文化が始まってまだ100年ちょっとですが、そのなかですでに多くの作品のフィルムが現存していなかったり、その魂の痕跡が消えようとしています。

現実にはないものをどう見せるのかという部分で培われてきた映像の技術は大きく変革してもっと簡便に誰もがコストをかけずに撮りたい映像を撮れるようになりましたが、限られた状況でどう魅力的なものを見せるか、という映像作家たちの情熱は今も昔も変わりません。そんな変わらぬ想いをこの「須賀川特撮アーカイブセンター」で感じて欲しいと僕は思います。





最後に、いよいよ見たかった戦艦三笠との対面になりました。1969年に東宝が制作した『日本海大海戦』で使用された1/21.428スケールのもので、円谷英二最後の特技監督作品として有名です。この三笠が円谷英二の生まれた場所に収蔵されるのは大変素晴らしいことだと思います。劇中では三船敏郎演じる東郷司令長官の旗艦で、バルチック艦隊からの砲撃で上がる水柱の中を黒煙を上げて果敢に進んでいきました。館内でこの三笠の修復作業の映像を観ることができます。当時の技術のすごさと、現代の修復技術がクロスオーバーするとても胸が熱くなる映像ですのでこちらもご覧下さい！

そのなかで艦体左舷部分は当時の木工部分を見て欲しいということで、無塗装状態で仕上げてあります。側面から水泡を出すための穴など、思わず唸ってしまう、様々なギミックがあります。『日本海大海戦』の終盤、少し日が傾いてきた空と艦隊のすごく美しい画があるのですが、このシーンには「須賀川特撮アーカイブセンター」にも作品が収蔵されている島倉二千六さんが特撮背景で参加しています。実物を見ていなかったらそういった背景まで知ることがなかったので、改めて本編を観て新たな発見をすることができました。そし

て発見をすると、また見に行きたくなります。

一つ一つの映像作品だけでも語りきれないほど多くの魅力がありますが、ここ「須賀川特撮アーカイブセンター」にはそんな作品の要の部分が多く集まっています。特撮やSFというカテゴリだけに収まらない、映画の歴史の一部がここにはあります。ぜひ！ ウルトラマンでもゴジラでも日本海大海戦でもなんでもいいので、改めて作品を見直してから「須賀川特撮アーカイブセンター」に行ってみてください。そして映画の魂にちょっとでも近づいてみてください！



〒962-0302 須賀川市柱田字中地前22 須賀川特撮アーカイブセンター (須賀川市のサイト)

武田康廣

1Fを 【いちえふ】 見学した日

F-CONでは前泊、後泊のオプションツアーで福島第一原子力発電所の廃炉見学が予定されています。僕は3年ほど前に地元新聞社の取材に同行させてもらい被災して7年目の1Fを見してきました。当時すでに修復工事はかなりすすんでいて取材や見学は結構多かったようです。

しかし、津波で被災し水素爆発で壊滅的な被害を受けた原子力発電所が現在（当時）どのように修復され解体されつつあるのか「興味津々」というのが僕の正直な気持でした。

なのでF-CON実行委員長の浅尾さんから「取材に同行できますが、行きますか」というお誘いには速攻で「行きます」と答えたのです。

集合場所の「Jヴィレッジ」からマイクロバスで1Fに到着。そこから「事務本館」に入ってます。見学（取材）前の個人の放射線量を計測します。帰りも計測して被爆量を計るわけですね。この「事務本館」には食堂だけでなくコンビニもあり、喫煙所（当時）もあるのです。今も喫煙所はあるのかなあ。窓もない小部屋だったのが驚きました。

準備が整ってからバスで敷地内に入っていきます。多くの敷地内は「タイベックス（よく見た白いツナギ服です）」を着なくても問題ないぐらい放射線量は下がっているそうです。被災した原

子炉建屋の周りをマイクロバスで周回しましたが、「窓は閉めてください」程度でした。それも念のために。普通の見学ではバスでくると周るそうですが、今回は取材関係だったのもっと深い部分まで入ることができました。

施設内を見て驚いたのは、初期に汚染水と言われた水（のちの処理水）を入れていた臨時のタンクがすでに使用済みとなって山積みになっていること。サイズも小さく、その分数量が多かったです。この辺りは報道ではあまり見られない部分です。その形はまるで原作漫画版『鉄人28号』の胴体みたいでした。

原子炉建屋の地下に張り巡らされた「人口永久凍土」は「凍らない」「役にたたない」などいろいろ言われていましたが、実際にこの手で触れて、金づち（置いてあった）でたたいても本当にカチンコチン（地上の露出部分が）で「なんだ、十分に凍っているじゃないか」と見学者みんなで驚いていました。説明でも全く問題がないということでした。

建屋の周囲を周っている際に津波がここまで来たという話を聞くにつけ、海からの距離を考えても本当にすごい高さまで来たのだなあといながら驚きました。

無事な原子炉建屋も、もちろん原子炉は停止

しています。すでに燃料も抜かれているということで建屋内に侵入しました。もちろん許可の上での見学です。そこで僕は初めて原子炉の底を見ました。なんだかすごい迫力がありました。

僕は大学では「原子炉工学科」だったのですが、安全な小型の原子炉の中を覗いたことはありましたが、大型の商業原子炉を間近に見たのは初めてです。この見学では「タイベックス」を着用します。手袋にマスク、ブーツも。そして手首、足首部分はテープでがっちり止めるわけです。TVの報道などでよく見た姿になりましたが残念ながら写真は撮れませんでした。この「タイベックス」姿には何度かなりました。放射線量が高い（実際は心配するほどではない）場所で被爆の危険がある場所ごとに着替えるのです。もちろん毎回使い捨てです。

見学に行ったのは春だったので「タイベックス」を着用していても大丈夫だったのですが、夏場ならそれこそ「サウナスーツ」と化していたことでしょうね（実際かなり大変だったそうです）。不謹慎なのはわかってはいますが、なんだか楽しくなってきました。「ああ、僕は今本当に現場にいるのだな」と思ったからです。取材ですからもちろんカメラマンが同行しています。毎回カメラにもカバーを掛けなければいけません。これも大変です。

そして見学者全員で高台部分から被災した原子炉建屋を見下ろすと、すでに燃料を抜かれて新しい建屋で囲まれている原子炉とは別に水素爆発で崩れた建屋を片付けているところもありました（見学当時）。そこで驚いたのは上からクレーンで大きな筒状のものが崩れた瓦礫を取り込んでいるのです。まるで掃除機のように。実際は掃除機ではなくてクレーンだと思うのですが。おそらくチリが舞い上がらないように処理しながらゆっくりと瓦礫を移動しているのでしょう。こりゃあ時間がかかるよねと。

でもこれぐらい丁寧な仕事をしなければ事故

等が起こってからでは遅いということなのでしょうね。そしてこの場所では「タイベックス」は着なくても大丈夫なのです。もちろん未だ難しい炉心溶融の処理もあります。それでも、おそらく時間をかけて解決されていくことだと思います。そう勝手に感心して勝手に納得しました。

何よりも見学していて思ったのは、整然と多くの人々が廃炉作業をしていること。もちろん、被災前の原子力発電所には多くの作業員がいることは知っていましたが、事故後の1Fにも多くの作業員がいます。

特に派手な状況もなくひたすら時間をかけて作業し、徐々に被爆の危険性も少なくなるけれど、それでもまだまだ時間がかかる。大変な作業です。僕が見学したのはもちろん、安全な部分でしかありません。シャレにならない放射線量の高い部分があるのはもちろんですが、それでもここまでやれるのだという事実は素晴らしいものでした。

見学を終えて「事務本館」に戻り放射線被爆線量を再計測。もちろん何の問題もなく通過。見学（取材ね！）は無事何事もなく終了しました。見学して何よりも感動したのは、1Fにバスが到着したときにメインの通りが桜並木だったことです。立派な桜が並んでいました。時期が早かったので桜は咲いていませんでしたが、春にはきれいな桜並木になるそうです。事故後に新しい建物のために半分ぐらいに桜並木は伐採されたそうですが、それでも春にはきれいに咲いているとのこと。聞いたところでは、震災の春もそれから桜は毎年咲いていたといえます。

SF大会の時期には桜にはまだ早いので見られませんが、見学される方々には桜並木だけでも見ていただければと思います。

うつくしま、ふくしま。〈福島県〉 山海に恵まれた大わらじとUFOの里を堪能して欲しい！

日本一の大わらじを担ぐ会
名誉会員・副会長 関口榮幸

東北地方の最南部に在り、北海道、岩手県に続く3番目に大きな県で、1万3780余平方キロメートルの広大な県域に59の市町村があります。

県内は南北に延びる山脈や山地により、旧会津藩のあった「会津地方」、太平洋側の「浜通り」、そして両地域に挟まれた「中通り」に分けられ、それぞれの地域は気候・文化・歴史・気質などが異なっています。

会津地方は、旧会津藩の在った地域で、豪雪地帯であり、米どころであると共に酒どころで、2014年には会津若松市で「会津清酒の普及の促進に関する条例（日本酒乾杯条例）」が可決もされています。

浜通りは、その名の通り太平洋側に面して、日本で12番目に大きな、いわき市（旧岩城平藩）が含まれ、海産資源の豊富な地域であると共に、2011年の東北太平洋沖大地震により津波が押し寄せ、東日本大震災の中でも最も深刻な災害の一つとなった東京電力福島第一原子力発

電所が立地している地域でもあります。

中通りは、両地域に挟まれ、日本三大桜の「三春の滝桜」があり、東北自動車道・東北新幹線が走り、県庁・県警本部・日銀福島支店があり、県内の地方銀行や地方新聞社、NHKや地方局の本社、国政党の県支部などが置かれ、政治・経済・物流の中心地である一面と、江戸時代から続く暁詣りと言う神事で、長さ12

メートルという、日本一の大わらじが奉納されたり、様々な形状のUFOが、数多く目撃される「千貫森」と呼ばれる地域があるなど、奇怪な一面もあります。また、この3地方の構成と共に、県のほぼ中央に、日本で4番目に大きな「猪苗代湖」がある事も、県の特長の一つでしょう。





そして全県を通じて言える事は、「人情に厚い」ことと、とにかく「食べ物が美味しい」ことです。先述の通り、太平洋に面した地域、物流の中心地、米どころ、山間部それぞれからの、海の恵み、山の恵みと、物流により下支えされた福島県の飲食物は、本当にその地域の人々の笑顔のスパイスにより最高の旨味を醸し出しています。その証拠に2000年に始まった「米・食味分析鑑定コンクール（国際大会）」に於いて総合部門金賞に32回・同特別優秀賞に56回エントリーさ

れ、中でも天栄米は2018年度まで9年連続金賞記録を保持しています。

また良い米が作れる土地では、良い日本酒が醸造でき、2012酒造年度以降、「全国新酒品評会」では7年連続金賞受賞銘柄が最多県であり、2005酒造年度以降では、金賞受賞最多年が9回、2位5回の快挙が続いています（2019酒造年度は、入賞銘柄より金賞を選ぶ決審は中止）。

それ以外にも、福島県で栽培に成功した桃「あかつき」や、27年連続で皇室献上に選定された「桑折町の桃」、同じく皇室献上の「会津の見知らず柿」はじめ、生産量全国20位以内に「イチゴ」「うめ」「ぶどう」が、10位以内に「柿」「サクランボ」「リンゴ」「梨」があり、全国2位の生産量を誇る「桃」があります。残念ながら全国1位の収穫量を誇る果物は無いものの、これだけの種類の果物が収穫出来るのは全国唯一であり、収穫量全国6位の「お米」はじめ、5位の「蕎麦」等の穀物が収穫でき、「わっぱ飯」「喜多方ラーメン」「こづゆ」「メヒカリ料理」「しんの山椒漬け」「いか人参」「ざくざく」「ソースカつ丼」「円盤餃子」「さくら肉（馬肉）」「まんじゅうの天ぷら」「芋煮」「鯉料理」「川魚料理」「なみえ焼きそば」と本当に

たくさん、紹介しきれない自慢できる食べ物と、郷土料理があり、日本三大饅頭に数えられる「柏屋の薄皮まんじゅう」はじめ、「ままだおる」「エキソソパイ」「檸檬」「家伝ゆべし」「じゃんがら」「酪農カフェオレ」の関連品「クリームボックス」等、名菓も豊富で、どれを食べても微笑んでしまう程、最高の味です。

また、多くの人材を輩出している事も誇りであり、特撮の神様と謳われる円谷英二監督は本県出身で、その縁から、福島空港の1番機に乗っていたのは、ウルトラマンとバルタン星人でした。他には、東京五輪マラソン銅メダルの円谷幸吉選手、外務大臣や内閣官房長官を歴任し、内閣総理大臣臨時代理を務めた伊東正義先生、細菌学者で千円札肖像の野口英世博士や、NHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公新島八重さん、そしてNHK朝の連続テレビ小説「エール」のモデルで「モスラ」（1961年）の音楽を担当された古関裕而さん、スーパー戦隊やウルトラマンタロウの演出や特撮監督を務めた東條昭平監督も本県出身です。

観光資源も豊富で、特に会津地方は魅力が詰まっています。旧会津藩の居城「鶴ヶ城」はじめ、戊辰戦争で勇敢に戦い

散った白虎隊の眠る「飯盛山」、阿賀川の浸食で出来た「塔のへつり」、磐梯山の噴火で形成された湖沼群が様々な色彩を見せる「五色沼」、旧有栖川宮家の別邸「天鏡閣」、日本で4番目に大きな「猪苗代湖」、雄大な「磐梯山」、会津松平家祖保科正之公の墓所「土津神社」、赤べこ伝説の残る「福満虚空蔵尊圓蔵寺」、茅葺屋根の民家が建ち並ぶ「大内宿」など、何処へ出向いても、学びと感動を受ける事ができますし、郷土料理と日本酒が、思い出と共に五感に刻み込まれます。

2011年3月11日14時46分……宮城県牡鹿半島の東南東約130キロの海底で、日本での観測史上最大となるマグニチュード9.3回目となる最大震度7の「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。福島市の家も震度5強の大きな揺れで、食器棚から音を立てて食器が飛び出し崩れ落ち、塀は崩れ、マンホールは飛び出し、電柱が傾いていました。

電気・ガス・水道のライフラインが途絶え、正午に7.4度であった気温は、夜半には0度まで下がり、電気不通の為に、TV等で現状を確認できないまま、靴を履いたままソファで仮眠する、不安な日々を過ごしました。

13日、電気が復旧して初めて震災の全容を目の当たりにしました。大地を遡流する大津波、東京電力福島第一原子力発電所の水蒸気爆発を見た時の衝撃は忘れられません。

その後、映画『Fukushima 50』にて描かれる作業員さんや自衛隊の皆さんの賢明な努力で、原発は再び制御する事ができ、全国から届いた支援物資を頂き、過ごしていました。

原発事故では、立地する双葉郡大熊町・双葉町はじめ計8町村が全町村避難となり、全国に散り散りになってしまい、10年を経て尚、住民の帰還困難地域があります。

福島市でも、ガラスバッジが配られ外部被ばく線量の測定、ホールボディカウンターで内部被ばく線量の測定もしました。県内の学校や公園、公共施設には、放射線量を計測する器機が取り付けられ、食料品は放射線量を測定し、基準の下回ったもののみが流通する、そんな非日常だったものが、日常になっていきました。

県外の友人に、避難はしないのかと尋ねられた事があります。勿論、最初は不安な事も沢山ありましたが、モニタリングポストの設置や、食料品の全袋検査等

で、目に見えないものが数値として認識できる様になりましたし、除染作業により、空間放射線量は減り、ホットスポットも無くなりました。

福島には、こんなにも沢山の自然と文化、歴史や郷土料理、何より自分を育んでくれた沢山の思い出があります。

「ふくしまが好きだから……」



個性豊かな福島【第四回】

坂本博紀

海の男酒 磐城壽の鈴木酒造店（中編）

みなさま、ごきげんいかがでしょうか。浜通りの地酒を楽しむ会の坂本博紀です。秋も深まりめつきり寒くなりました。秋

という日本酒のイベントが多く開催される時期ですが新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりそういったイベントも全く開催されなくなっていました。巣籠もりということもあり酒の小売は伸張していますが、大規模販売店で扱いのある酒類ばかり売れて日本酒は苦戦しているところがあります。みなさんもぜひ地酒屋さんなどでお酒を買って飲んでください。

前回、福島県浪江町にあり東日本大震災で被災したことで山形県長井市に拠点を移した「鈴木酒造店」についてご紹介しましたが、今回はその続きとなります。

循環の酒「甦る」と「レインボープラン」

もともとの「鈴木酒造店」の主要銘柄「磐城壽」と移転先の「東洋酒造」の「一生幸福」という銘柄、それとも一つ「東洋酒造」の銘柄に「甦る」というものがありました。

これは長井市で行われていた地域循環型農業「レインボープラン」に関連する商品の一つでした。

「レインボープラン」とは家庭で出る生ゴミを堆肥として再利用して野菜など農産物を育てようというもので1997年から活動していてこの地域のゴミの分別レベルは今でも非常に高いです。地産地消という言葉が出来る前から域産域消という言葉を使っていたり農業や食料自給に関する関心がとても高い地域です。

その一環で作られた幻の食米「さわのはな」を使い醸された酒が「甦る」なのです。

思いやりと心意気の輪は限りなく

鈴木酒造店長井蔵に引き継がれた「甦る」は、その「さわのはな」の米作りの部分から避難者とともに携わり、さまざまな関わった人たちへの感謝をこめて「思いやりと心意気の輪は限りなく」と銘打って毎年3月11日に発売しています。

鈴木酒造店ではさらにレインボープランから着想を得て、酒粕を堆肥にして



使って食卓を広くカバーしたいという想いがありました。

「甦る」に集う人たち

「甦る」の原料米「さわのはな」の田植えや稲刈りには、毎年全国からファンが集まります。最初はいわきから避難してきた村田孝さんと避難者で構成された復幸ファームが参加していましたが避難者も帰還して減っていき、最近は濃いファン達が集まって毎年汗を流しています。中でも東京金町の「かもし処ひょん」のツアーは毎年大勢の人たちを連れてバスで乗り込んできます。「かもし処ひょん」のご主人と奥さんは蔵元の同級生でもあります。

実はこの「甦る」にはテーマソングもあり、郡山出身のミュージシャン伊東和哉さんが手がけ、サウンドプロダクションの上野哲生さんも同じく壽ファンという様々な人たちに愛される酒なのです。

故郷を想って

熱いファンが多く、山形に移ってからもファンを増やしている鈴木酒造店ですが、とどまることなく精力的に様々な試みをしているのは浪江に帰るという目標があるからです。鈴木酒造店があった場



所は土盛がされて防波堤になってしまい全く同じ場所での酒造りはできなくなっていました。鈴木酒造店の紹介の最後となる今回は浪江でのこれからを中心にお話したいと思います。



大会お申し込みはお急ぎください!

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、会場レイアウトや、企画に使用する部屋割について配慮する必要が出てきました。

今後の状況によっては、ZOOM等を利用して企画を有料配信することも検討する必要があります。部屋の換気や消毒を鑑みると、企画のコマ数にも制限が発生するかもしれません。

7月現在、日本コンベンション協会のガイドラインでは、**施設収容人数の半分以上**が、参加者数の上限となっております。もしこの規制が来年3月まで続いた場合、本大会の定員についても、申込人数が会場「華の湯」のキャパシティの半分に達した時点で受付を締切らざるを得ない可能性があります。

自主企画絶賛募集中!

つきましては、自主企画も**第二回締切りを12月末に設定**させていただきます。

公式メール、応募フォームからあなたが考える自主企画をご提案下さい。それぞれの提案について実行委員会にて精査のうえ、協力し

て進めていければと思います。

内容・企画に必要なゲストご招待の段取りなどは、お申し込みのあと、実行委員会とご相談の手筈となります。

皆様からのご応募、ご提案をお待ちしております。

ご応募は、下記のフォームをコピーしてメール頂くか、公式サイトのお応募フォームから送信して下さい。

- ☐ 企画名 []
- ☐ 企画内容 []
- ☐ 企画責任者 []
- ☐ Eメールアドレス [@]
- ☐ 電話番号 []
- ☐ 参加ゲストの有無 ゲスト有りの場合ゲスト名 []
- ☐ 参加予想人数 [] 名
- ☐ 場所の希望 [会議室 / 座敷 (大広間含む) / 自分の部屋]
- ☐ 質問 []

公式企画

基調講演

「SFから見る福島未来」(パネル)
ZABADAKライブ
偽科学シンポジウム
加藤直之のVRでお絵描き&VR作品鑑賞会
統合医療とSF/名作SFと現代科学
オンラインゲーム企画/VRの今
話題のアニメ監督対談「どんなSFに影響を受けたか」
SFアニメ上映会(作品選定中)
ラノベ作家企画
ゲストアンケート企画「軌道エレベーター」プレゼンテーション
コンテンツと行政
3mの宇宙人 福島に現る
セガを語る
ふくしまで取り組むSF&ファンタジー
サンライズフィクションについて

※企画は検討中のものです。

これからのイベントについて

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策のためほとんどのイベントが中止や延期、オンライン開催になっていますので一般告知が弱くなっていますが、F-CONは対策を講じてリアル開催に向けて準備中です。どうぞよろしくお願いいたします。

こんなイベントがあるよ。ここで告知できるよ。私の周りに参加したい人がいるよ。ということがありましたら実行委員会までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

ボランティアスタッフ募集

①企画スタッフ（参加者から募集）

企画段階から協力できるかた。

対外交渉もしていただく可能性があります（協力企業との連絡など）。

LINEでの連絡やLINE通話会議に参加できることが望ましい。

②当日スタッフ（参加者から募集）

当日の機材準備や受付など、メインスタッフの指示にしたがって動いてくださるかた。

一日目のみ、二日目のみ、両日とも、などのご希望に沿います。

宿泊されるかたは夜の企画もお手伝いいただきます。

③現地スタッフ

大会に参加はしないけれど、当日日中のスタッフとしてご協力いただけるかた。

宿泊や夕食はご提供できませんので、夕食前には作業終了となります（時間的に中高生もOK）。

一日目のみ、二日目のみ、両日とも、などのご希望に沿います。

④前日設営スタッフ

受付キットの作成や、会場の設営など準備のお手伝い。前泊される方はお手伝いいただけると助かります。

その他のご説明

- ① 大会を円滑に運営することがスタッフの役目ですので、ご希望の企画を見られるとは限りません。シフトを組む際にはなるべくご要望を叶えたいとは思ってお

りますが、どうしても見たい企画があるのでしたら、「その企画の担当をする」と名乗りを上げる、または個人対個人で直接シフトを交代する（この場合、必ずメインスタッフに申し出てください）などの工夫をお願いします。

- ② 得意なこと（ステージ進行ができる、対企業で丁寧な事務対応ができる、機材のセッティングができる、Excelなどでデータ管理ができる）等々ありましたら、どうかお知らせくださいませ。

- ③ 当日スタッフ、現地スタッフに関しては、イベント開催未経験者でも充分にご活躍いただけます。例を挙げれば、「受付をするので、これとこれをチェックしてこれを渡す」、「いまからこのゲストを企画部屋まで誘導する」「この部屋にこの機材が揃っているかチェックする」などです。

以上を踏まえまして、これまでご登録いただいていた種別を変更される場合は、大会メール sffcon@gmail.com まで（IDのわかるかたはそれも添えて）ご連絡ください。

なお、現状ではメインスタッフ（直接運営する幹部）間で各種の調整をおこなっております。

企画スタッフの方々には、のちほど詳しい役割等をご連絡いたします。

当日・現地スタッフのみなさんは、具体的なお仕事内容が決まるのがまだ先になりますので、それまで楽しみにお待ちくださいませ。

みなさんのお力で福島を、そしてF-CONを盛り上げたいと思っております。

ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

ご応募は、下記のフォームをコピーしてメール頂くか、公式サイトのお応募フォームから送信して下さい。

☐氏名[] ☐年齢[]

☐住所[]

☐Eメールアドレス[@]

☐電話番号[]

☐希望するスタッフの種類

① 企画スタッフ（大会参加者で、準備段階から企画にかかわるお仕事をさせていただきます。場合によっては対外交渉をしていただく可能性もあります）

② 当日スタッフ（大会参加者で、当日の受付や機材位置など簡単なお仕事を指示に従ってさせていただきます）

③ 現地スタッフ（大会には参加せず、夕食前には作業終了となる簡単なお仕事を指示に従ってさせていただきます）

④ 前日設営スタッフ

☐当日スタッフ・現地スタッフの協力日

① 1日目【3/13（土）】 ② 2日目【3/14（日）】 ③ 2日間共【3/13（土）、14（日）】

☐質問[]

ディールーズ募集

同人誌やグッズなどを売る物販コーナーです。
参加者ならどなたでも無料でブースをお使いいただけます。
伝えたいもの、渡したい品、どんどん販売してください。

【1ブース】

長机：150cm × 60cm

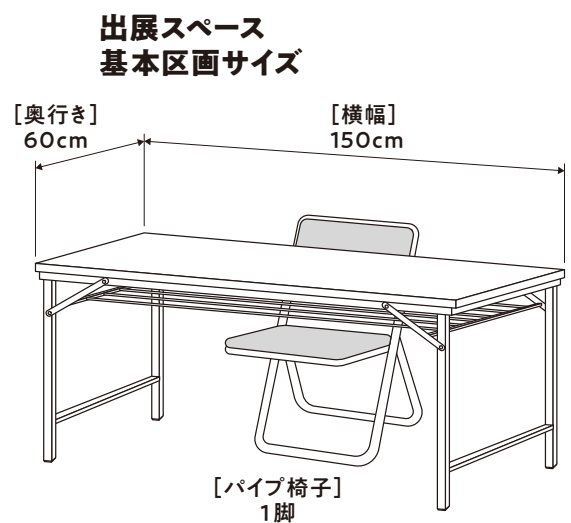
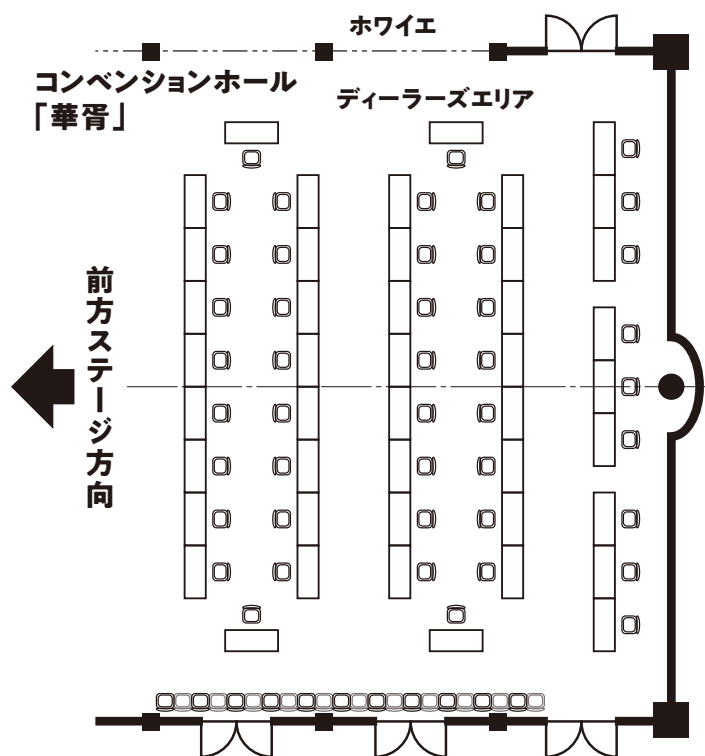
パイプ椅子：1脚（コロナ対策のため）

【申し込み締切】

2020年12月末

※応募多数の場合は抽選となります。ご了承ください。

下記フォームお申し込み下さい。



大会概要

開催日

2021年(令和3年)3月13日(土)～14日(日)
前泊3月12日(金)、後泊3月14日(日)

開催場所

〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60「ホテル 華の湯」
<http://www.hotelhananoyu.jp/>

大会形式

1泊2日の完全合宿型ですが、当日の日帰り参加も可能です。
改装したばかりの豪華な会場を、ホール・会議室・居酒屋までふんだんに使い、数多くの企画を提供します。また、企画によっては、各部屋や野外が会場になります。

主催

第59回日本SF大会「F-CON」実行委員会

特別協力

木下グループ

協力

ホテル 華の湯

前泊・後泊

「ホテル華の湯」にご宿泊いただく前泊後泊企画があります。

タイムスケジュール(調整中)

3月13日(土)大会1日目

12時頃	プレイベント開始
13時	宿泊参加者受付開始
14時	当日参加者受付開始
15時	開会式
16時	星雲賞受賞式
16時以降	各種シンポジウム企画を開始 ディーラーズルーム、展示企画開始 公式企画、自主企画等開始
18時	夕食開始(時間内で随時)
18時以降	夜の部として各種企画開始
21時	当日参加者退場 深夜にかけて宿泊参加者による 各種企画が多数開催されます

3月14日(日)・大会2日目

6時頃	プレイベント開始
7時	朝食(時間内で随時)
9時以降	企画開始・当日参加者受付開始
10時より	各種シンポジウム企画開始
13時より	メインホールにてメイン企画
15時	閉会式

オプションツアー

後泊オプションツアー（有料）が追加決定！

東日本大震災から10年の節目と、F-CONの開催日程が時期的に重なることも踏まえ、従来より、復興関連施設を中心に企画しておりました。この度、後泊でも復興関連施設のご見学をしていただけることになりましたので、現時点での御報告をいたします。こちらは参加申込受付中です！

（※各オプションツアーは、前泊または後泊に申込の方のみご利用いただけます）

前泊オプションツアー（有料）

【重要】前泊オプションツアーは申込を締め切りました

Aコース：復興関連施設・福島第一原子力発電所見学は定員に達しました。

Bコース：ワールドロボットフェスは、大会日程変更に伴い該当イベントへの参加が不可能になりました。該当のみなさまには、すでに個別メールを差し上げております。以下は、Aコースをお申し込みの方への暫定のタイムスケジュールになります。

3月12日(金)

9時	郡山駅 出発
9時45分	福島空港 経由
11時	いわき駅 経由
11時45分	Jビレッジ視察+昼食
12時45分	出発
13時30分	廃炉関連施設 着
	～福島第一原子力発電所視察
17時	終了予定～移動
18時30分	ホテル華の湯 着

※諸事情により、変更の可能性があります。

後泊オプションツアー（有料）

後泊オプションツアーが新設！ A・Bコースにお申込みいただけます！

Aコース

復興関連施設見学バスツアー（抽選）

（※応募者多数の場合、抽選となります）

3月15日(月)

7時30分	ホテル華の湯 出発
9時30分	廃炉関連施設 着
	～福島第一原子力発電所視察
12時30分	移動
14時30分	須賀川特撮アーカイブセンター、
	もしくは福島さくら遊学舎（調整中）
16時	移動
16時30分	郡山駅 着
17時15分	福島空港 着

※諸事情により、変更の可能性があります。

Bコース

福島の観光スポットと特撮・アニメ関連施設ツアー

（※応募者多数の場合は抽選となります）

3月15日(月)

7時30分	ホテル華の湯 出発
9時	鶴ヶ城 着
10時30分	移動
11時	白虎隊記念館・飯盛山 着
	（昼休憩含む）
13時	移動
14時30分	須賀川特撮アーカイブセンター、
	もしくは福島さくら遊学舎（調整中）
16時	移動
16時30分	郡山駅 着
17時15分	福島空港 着

※諸事情により、変更の可能性があります。

※オプションツアーに参加せず、ゆっくりされたい皆さまには、前泊・後泊のみの申込も受付させていただきます。また、既にオプションツアーの前泊・後泊をお申込の場合は、そのままスライドさせていただきます。

参加料金と申込ガイド

参加費一覧

宿泊参加費			
参加区分	料金(税込)	星雲賞 投票権	会場入場
大人(18歳以上)	¥30,000	○	○
中人(中・高生)	¥20,000	○	○
小人(小学生)	¥12,000	○	○
幼児(3歳以上)	¥8,000	×	○
乳児(2歳)施設使用料(食事なし)	¥3,300	×	○
2歳未満(食事なし)	無料	×	○
介助者・ヘルパー	¥16,000	×	○

前泊(12日)／後泊(14日)費(共通)	
参加区分	料金(税込)
大人(中学生以上)	各¥15,000
小人(小学生)	各¥10,000
幼児(3歳以上)	各¥7,500
乳児(2歳)施設使用料(食事なし)	各¥3,300
2歳未満(食事なし)	無料
介助者・ヘルパー	各¥15,000

オプションツアー参加費	
前泊オプションツアー(12日)	¥5,000
後泊オプションツアー(15日)	¥5,000

日帰り参加費					
	参加区分	日帰り両日料金 (税込)	日帰り一日料金 (税込)	星雲賞 投票権	会場入場
事前 申し込み	大人(18歳以上)	¥12,000	¥6,500	○	○
	中人(中・高生)	¥3,000	¥1,500	○	○
	小人(小学生)	無料	無料	○	○
	未就学児	無料	無料	×	○
	介助者・ヘルパー	無料	無料	×	○
当日券	大人(18歳以上)	¥13,000	¥7,000	×	○
	中人(中・高生)	¥3,500	¥2,000	×	○
	小人(小学生)	無料	無料	×	○
	未就学児	無料	無料	×	○
	介助者・ヘルパー	無料	無料	×	○

登録参加費	¥4,000	○	×
-------	--------	---	---

【日帰り参加の方の入場可能時間】

3月13日(土) 15時～21時(14時受付開始)

3月14日(日) 9時～15時(9時受付～閉会式終了まで)

※日帰り料金を改定致しました。

既に申込された方につきましては返金処理を致します。

- 介助者・ヘルパーは障害者手帳提示をお願いします。要介助者一名につき、一名までが原則です。
- 登録参加は、大会自体には参加できません。プロGRESSレポートや当日の配布物の受け取り・星雲賞の投票資格は得られます。
- ゲストの皆さんには別途案内をいたします。

お食事について

【宿泊参加の方】 1日目(13日)の夕食(buffet形式)と、2日目(14日)の朝食が付きます。

【当日参加の方】 両日とも、お食事は付きません。ご希望の方には参加料と別料金にて提供致します。

1日目(13日)の夕食buffetチケット: 4,000円(数量限定)

または、館内食事処などで軽食をご利用頂けます。

【23日の昼食】 宿泊参加者、当日参加者共に有料にて提供致します。

昼食buffetチケット: 2,500円(数量限定)／お弁当販売: 1,000円程度(調整中)

【前泊・後泊】 夕食(buffet形式)と朝食が付きます。

【オプションツアー】 昼食をご用意致します。

お支払い方法

お振込先 ゆうちょ銀行
 ゆうちょから 18210-39714131
 他行より (店名) 八二八店 (店番) 828 (普通預金) 3971413
 口座名義 エフコン実行委員会 会計 ワタナベヤエコ

クレジットカード、コンビニ払い、Pay-easy決済の場合

公式ウェブサイトからお申し込み下さい。

キャンセル、申込内容の変更について

事務局までメール等にてご連絡ください。➡ sffcon@gmail.com

ご返金処理等に関しては、個別に御案内致します。

磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」への道

関東と関西を起点とした会場までの主なルートです。

費用に関しては、購入時期や旅行会社等により異なります。

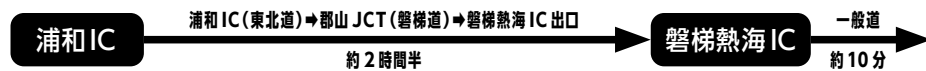
また、移動時間は目安です。

東京発 from TOKYO

新幹線 約2時間 8,780円

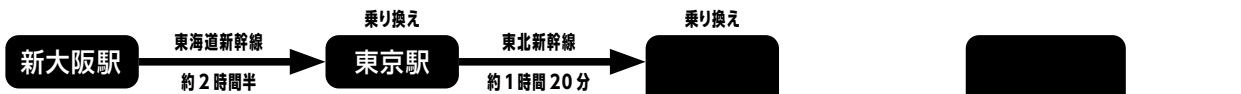


自家用車 約2時間40分 通常5,590円/ETC3,910円

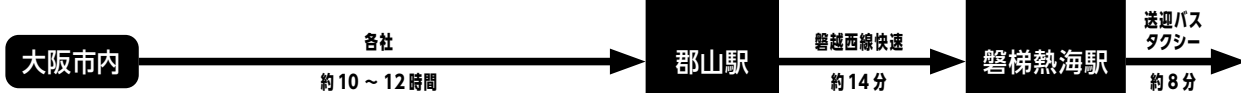


大阪発 from OSAKA

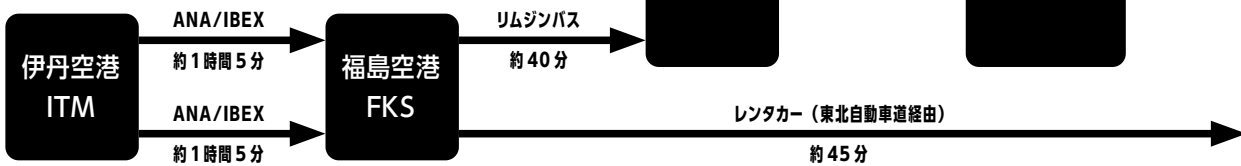
新幹線 約5時間 約21,500円



夜行バス 約10~12時間 約8,000~16,000円



航空機 [リムジンバス]約3時間 約8,500~16,000円
[レンタカー]約2時間半~3時間 約6,500~14,500円+レンタカー代



自家用車 約8時間 通常16,620円/ETC11,420円





磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60

<http://www.hotelhananoyu.jp/>

スタッフ会議

東京、大阪にてスタッフ会議を行っています。

開催日時、会場などは、公式サイト、ツイッター等で告知します。

事前連絡、申し込みなどは不要ですので、
参加希望の方は会場まで直接おいで下さい。

現在、感染症対策のためZOOMなどのオンライン会議ツールも活用していますので、
会場に来られない方も参加可能です。

奥付

SNSでは随時情報を告知していきます。
なのでフォローやイイネをお願いします。
ここでの質問などにもお答えしていきます。
なるべく迅速に！ 頑張ります。

twitter
https://twitter.com/SF_FCON

Facebook
[F-CON] イベントページ

〔企画・発行〕 〒963-7725
福島県田村郡三春町大字鷹巣字瀬山 213 番地
株式会社福島ガイナ内
第59回日本SF大会「F-CON」実行委員会

〔問い合わせメールアドレス〕 sffcon@gmail.com

〔公式サイト〕 <https://sf-fcon.com>

〔公式通販サイト〕 <https://fcon.theshop.jp>

